

Q 1, 数百万道民の歴史である北海道開拓についてどう思われますか？

A, 1 継承すべき歴史だ

Q 2, 北海道百年記念塔は「北海道開拓の象徴」として建立されました。開拓の象徴である事が記念塔解体の背景になっているとの指摘がありますがどう思われますか？

A, 2、関係はない

とある団体の特定個人の方が新聞に寄稿したり、道議会にビラを配布する等という動きがあったかと思いますが、その事のみを持って背景となっていると断定はできません

Q 3, 北海道百年記念塔を守る活動は全国的な広がりを見せていますが、記念塔問題について道の説明をどのように思いますか？

A, 2、説明が足りない

インターネットでの説明会等も行っていただきましたが、判断の重要な部分を占めると考える

- ① 維持費の積算根拠について
- ② 老朽化、安全確保についての正しい発信

についての説明は、理解していただくために行ったほうがよいと考えます。

報道等では、維持コスト高による将来世代への負担と、老朽化を完全に防げない事から解体やむなしの判断をしたと言われている中、この2点に疑義が残っていると、理解が進まないと考えます。

Q 4, 北海道百年記念塔解体差し止めを求めて行政訴訟が起こされているにもかかわらず、道は解体工事を進めています。このことについて伺います。

A, 3 わからない

現在、道が解体工事を進められており、当初2年程度かかるとされていたのに、既に解体に着手している点について様々な見解がありますが、基礎部分を含めて解体工事が完了するのが令和6年度であり、外装などの解体は予定通りと伺っております。

現在係争中ですので、判断できる状況にありませんが、司法判断で差し止めが認められた場合は、原状回復の可能性も考慮すべきと考えます。

Q 5, 仮に初審で解体差し止めの判断が出た場合、道はどうすべきだと思いますか？

A, 3、わからない

上告するかどうかは被告人が判断する問題でありますので、初審の結果をまずは待つべきと考えます。

Q 6, 北海道開拓ならびにその象徴である北海道百年記念塔についてお考えを聞かせてください。

A,